

令和3年度日本医師会女性医師
支援センター事業
北海道・東北ブロック会議

令和3年11月3日（水・祝）
福島県医師会

1

テーマ1
「ドクターバンクの状況報告」

2

各都道府県医師会ドクターバンクの状況報告

- ・福島県医師会では、ドクターバンク事業を行っていない。
- ・福島県では、福島県地域医療支援センターホームページ（ドクターバンク）のほか、同様の求人内容をより分かりやすく広報周知するため「福島医師Fターン支援ナビ」に求人情報を掲載している。

（令和2年度～）



3

テーマ2 「復職・再就職支援体制について」

女性医師等就労環境改善事業

(厚生労働省 地域医療介護総合確保基金充当事業)
R3年度予算額 12,154千円(継続) 事業期間:平成23年度～

I 目的・課題

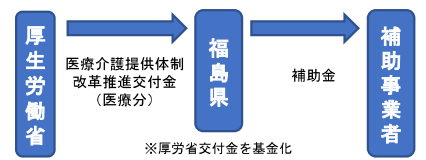
- 女性医師等の再就業が困難な状況の大きな要因として、就学前の乳幼児の子育て、配偶者の転勤、日進月歩で進む医療の現場に戻りづらい等の理由が挙げられている。
- 離職後の再就業に不安を抱える女性医師等に対し、医療機関における仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備する必要がある。
- また、出産や育児等の理由により、いったん離職した女性医師等の再就業促進を図るため、復職環境を整備する必要がある。



II 事業概要

- ◆補助事業者
働きやすい職場環境の整備を行う病院(医療法第1条の5第1項に規定する病院に限る)
- ◆補助率
2分の1
- 勤務条件の緩和
育児中の女性医師等を対象とした勤務条件緩和に取り組む病院に対し、経費の一部を補助。
(例示)
・短時間勤務の実施
・時間外勤務(休日・当直等)の免除
・オンコール待機業務の免除
・複数主治医制度の導入
- 復職研修
復職研修を実施する病院に対し、経費の一部を補助。
- 働きやすい職場環境の整備
保育所以外の育児支援(ベビーシッター等の雇上等)や、育児中の医師専任の事務補助担当者の配置に要する経費の一部を補助。

III 資金の流れ



IV 期待される効果

- 女性医師等の活躍推進
キャリア形成支援、働きがいの向上
- 健康で安心して働くことができる職場づくりを通じた、「雇用の質」と「医療の質」の向上

【参考】「いきいき働く医療機関サポートWeb」
(国・県の関係施策、医療機関の取組事例等の紹介HP)



5

女性医師等就労環境改善事業活用実績

年度	病院数	実績額
平成28年度	3病院	7,171千円
平成29年度	3病院	9,785千円
平成30年度	4病院	9,011千円
令和元年度	4病院	9,741千円
令和2年度	4病院	9,470千円

6

各道県医師会における復職・再研修支援体制について

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

・復職支援

県内女性医師が希望する時間と場所で自己研修を行い、知識、手技の向上及び自信の回復を図るため、スキルラボを有し、再就業のための臨床研修を支援している。今後、さらに自宅等での継続的かつ専門的・最新の知識を習得できるようなe-ラーニング学習システムの整備にも取り組む予定である。

7

テーマ3

「女性医師のキャリアアップ 支援体制について」

各道県医師会におけるキャリアアップ支援体制について

- ・福島県としては、女性医師の就労環境の整備をすることで、女性医師のキャリアアップにつなげていきたいと考えている。
- ・キャリアアップにしろった取組みについては、福島県医師会としては今後検討したい。